



- 国際会長主題:フェロウシップとインパクトで次の100年へ Samuel Chacko(インド)
- アジア太平洋地域会長主題:新しい時代とともに、エレガントに変化を Chen Ming Che (台湾)
- 東日本区理事主題:未来に向けて今すぐ行動しよう 佐藤 重良(甲府21)
- あずさ部長主題:ワイズへの参加と交流を楽しもう 後藤 明久(富士五湖)
- 甲府やまなみクラブ会長主題:準備を整えよう! 藤原 一正

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2022年 11月
No.2

●今月の強調目標
BF・100周年祝賀

●今月のことば
「他人のしたことと、しなかったことを見るな。
自分のしたことと、しなかったことだけを見よ。」
福巖寺(愛知県小牧市) 大愚元勝和尚のことばより 米山俊彦 君 選

- 今月の例会案内(第2回)
- 日時:2022年11月2日(水) 18:30~20:30
 - 会場:ホテル談露館
 - 司会:米山 俊彦 君
 - プログラム
 - ・開会点鐘 藤原 一正 会長
 - ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
 - ・ワイズソング 一同
 - ・会長挨拶 藤原 一正 会長
 - ・今月のことば 米山 俊彦 君
 - ・ワイズディナー
 - ・会員卓話 土橋 順 君
 - 「裁判員裁判を通して考える私たちの社会」
 - ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
 - ・諸報告
 - ・YMCAの歌 一同
 - ・閉会点鐘 藤原 一正 会長

Photo of monthly



10月2日「やまなしグローバルフェスタ2022」にて

10月のデータ

会員数	11名	例会出席	6名
ゲスト	1名	(塩沢頭里様)	
メーキャップ	2名(遠藤成人・土橋順)		
例会出席率	55%	修正出席率	

ハッピーバースデー
メン 菅沼 和也 (11/8)

アニバーサリー
該当者なし

今月の強調目標
BF (Building Fellowship)

クラブ間の交流を深め、ワイズ運動のリーダーを養成するための国際協会の制度。全世界のワイズメンズクラブ会員の参加によって、使用済み郵便切手を集め整理して、切手市場で換金する方法が主力だったが、次第に現金による拋出が増えてきた。切手を有利に換金するために奉仕する専門家をフィラテリスト、また、この基金の支出面を決定する国際協会の委員会をBFEC(BFエクスペンディチュアコミッティー)という。2022年5月の国際議会において、これまでのBrotherhood Fundから名称が変更された。
(2022-2023東日本区ハンドブック・ワイズ用語より)

●●●● 10月例会報告 ●●●●

甲府やまなみクラブ発足後の初めての例会となる10月例会は、10月2日(日)、「やまなしグローバルフェスタ2022」の打ち上げを兼ねて、午後5時から「やまなみ通り」から少し北へ入った「魚そう北口分店」で開催しました。

当初は、県立図書館の交流ルームでの開催を予定していましたが、グローバルフェスタの片付けが予想以上に手間がかかり、結局打ち上げ会の会場の「魚そう北口分店」で直接開催となりました。

藤原会長の挨拶の後、出席者一人一人からグローバルフェスタの感想や反省点が語られました。大方

高評価で、来年も開催できたらいいね、という意見も出されました。特に、福田担当主事からは、山梨YMCAにとっても、収穫の多い一日だったことが語られました。

予定していた仙洞田会員の卓話「やまなみクラブの未来予想図」は、時間の関係で大幅に端折り、当面の行事予定についての説明となりました。

その後打ち上げの慰労会となり、様々な話題で盛り上がりました。今日一日の心地よい疲れを感じながら散会しました。

出席者:藤原・松本・米山・遠藤(恭)・仙洞田・福田
ゲスト:塩沢顕里様(藤原、松本の共通の友人)

大成功グローバルフェスタ!

松本 公夫

「外国人との交流によって、地域社会の国際化を身近に感じるとともに、多文化共生について学び、国際化を推進していく」ことを趣旨として、2019年に開催された「やまなしグローバルフェスタ」を、やまなみクラブの設立記念事業として開催できないかと仮例会の段階からクラブ内で相談してきました。前回は藤原会長が代表を務めるNPO法人が主催し、当時甲府クラブのメンバーだった仙洞田さんと私で、山梨YMCAに呼びかけ、結果甲府クラブ、甲府21クラブの支援を得て、YMCAのブースを出展しました。

2回目となる今回は、手作りであるべくローコストに、そして企画を高校生(県立青洲高校)に委ね、我々は裏方でのお手伝いをしました。参加団体の出展料も無料にし、そのかわり各自でテントブースの設営をしてもらいました。

▼やまなしグローバルフェスタ2022の概要

*日時 2022年10月2日(日) 10:00~15:00

*会場 甲府駅北口アシストエンジニアリングよっちゃばれ広場(雨天時は山梨県立図書館)



キッチンカーによる各国の料理

〈パフォーマンス〉

・チアダンス/カポエラの実演/ペルーダンス/台湾民族舞踊/タイ民族舞踊

〈食:キッチンカー〉

・ブラジル/韓国/台湾/キューバ/タイ/メキシコ

〈参加団体:ブース〉

- ・(公財)キープ協会-SDGsに関する展示
- ・山梨YMCA-ウクライナ支援、平和ワークショップ
- ・ダニエラ基金-ピロシキとコーヒーの販売
- ・山梨タイ友好協会-団体PR
- ・山梨台湾総会-台湾料理販売
- ・甲府市国際交流課-PR
- ・甲斐市国際交流協会-ミニ縁日(輪投げ・金魚すくい等)
- ・山梨県立大学-アフガニスタン理解展示
- ・ELT英語教師団体-PR
- ・バハール山梨-アフガニスタンの物産販売

天候にも恵まれ、よっちゃばれ広場は大勢の来場者(約500人)で賑わいました。また、青洲高校の生徒さんが募金箱を持ち歩き、ウクライナ避難民への支援を呼びかけました。



「カポエラ」の実演

出会いの場 YMCA、 表現の場ワイズメンズクラブ

やまなしグローバルフェスタに参加して

担当主事 福田奈里子

「YMCAは出会いの場だ」とは、学生時代に夢中になってやっていたYMCA活動の中でたびたび語られたことばで、わたしは今でも事あるごとにそのことを思い起こされる経験が続いています。



【山梨 YMAA のブース】

新しく誕生した甲府やまなみワイズメンズクラブで、早速、大きな主催事業『やまなしグローバルフェスタ』が開催されました。前日まで東日本区主催のユースボランティアリーダーズフォーラムに参加していたわたしは、山梨で少しずつ動き始めたユースリーダー会の

ユース2名と一緒にYMAAのブースを担当させていただきました。

グローバルフェスタは、すでにわたしたちの住む社会が多文化共生の日常を生活していることを「楽しみながら」実感できる、アットホームであたたかなイベントでした。私たちは「平和」をテーマに、YMAA同盟を中心に行っているウクライナ支援事業の紹介や平和ワークショップ、そして子どもたちが楽しみながら

それに入っていけるようなお菓子つりのアクティビティを行ないました。

「YMCAって、こういうこともやっているんですね。」「野外活動や英語学校、それに学童なんかもやっていますよ。」という会話をお客さんと繰り返しながら、楽しい時間を過ごしました。ああ、楽しいな、新しい人たちと出会うって！

そんな中、一人のアメリカ人の若者が、同行した女性に教わりながら一生懸命折り紙の鶴(ピースワークショップのアクティビティ)を折っていました。完成した鶴を手に満足そうな笑顔で記念撮影。それで帰っていったと思ったら今度は一人でその青年が戻ってきて話しかけてくれました。聞くと、彼はアメリカサンフランシスコの出身で、なんとお父様がYMAAのスタッフとのこと。「YMCAって文字を見て、homeに帰ってきた気持ちになったんだ。ぼくにとってYMCAはhomeだから。」そうよ、そうよ。YMCAってそういうところだね。お帰り、ようこそ山梨のhomeへ。そのまま彼はずっとわたしたちのブースにとどまり、最後の片づけまでして、帰るときには「あなた、山梨Yのユースリーダー確定ね！」ということで近いうちの再会を約束しました。(編集者註:1ページPhoto of monthlyの右端の青年)

こんな豊かな出会いがあるYMAAは、その出会いや人とのつながりをもっともっと社会の中に広げていくミッションがあります。そして、その実現のために共に働き、互いのミッションを「表現する場」としてワイズメンズクラブがあるのだと思います。

これからのやまなみワイズメンズクラブの姿が、あのイベントで最初に「表現」されたような気がして、豊かな恵みを感じています。

あずさ部部大会と富士五湖クラブ20周年

仙洞田安宏

10月15日(土)、今年度のあずさ部部大会が、富士五湖クラブの20周年記念例会と抱き合わせで開催されました。会場は後藤明久部長のお膝元である、忍野村の「いちい亭」でした。

部大会は簡潔なプログラムで、佐藤重良・東日本区理事と中田純子・山梨YMAA総主事の祝辞の他、IYC(インターナショナル・ユースコンボケーション)へユースを派遣した、東京八王子クラブと甲府21クラブへ参加費の補助が渡されました。

富士五湖の望月さん、後藤さんと縁のあるご夫妻の「フォークデュオ」による'70年代の懐かしい曲(「風がはこぶもの」「卒業写真」など)で緊張感が一気に緩んだ後、富士五湖クラブの20周年記念例会に移りました。クラブメンバー全員が顔を揃え(伊東、つくば在住の会員もいる)、富士五湖らしいアットホームな例会でした。料理も盛り沢山で美味しく、抽選会で

は藤原会長は望月さんの育てた新米、私は原さん制作のルドウーテの植物画が配されたガラス皿が当たりました。

藤原会長の車に同乗してもらい、往復の道中は、約20年前、富士五湖クラブ設立のため故平原貞美さん、大澤英二さん、さらに深沢萬民さんらと通った車中でのおしゃべりを思い出し、時の流れの速さを感じました。参加者は全体で75人、やまなみからは藤原・福田・仙洞田の三人でした。



YMCA 「変化を楽しむ
チャリティーバザー」
山梨YMCA 総主事 中田 純子

毎年、11月3日「文化の日」に山梨YMCAチャリティーバザーを開催してきました。コロナ禍であっても室内中心から、屋外中心に変え実施してきたバザー。今年は、疲弊した生活、心の解放を行うための野外ステージを設置し、自分をアピールできる場の提供を行うことに決めました。今年発足した、甲府やまなみワイズメンズクラブは今年から参加し、この野外ステージを担当してもらう事になっています。

人は日常で繰り返し、いる場所、会う人、行う事が習慣化すると安心しますが、そこに少しでも変化が起こると戸惑い不安になります。YMCAは人、地域、社会に寄り添うには、それに逆らい変化に合わせ私たち自身も変化していかなくてはならない団体だと考えます。毎年同じバザー実施ではなく変化を受け

入れることを目指し、更に変化を楽しむことを希望します。

今年も、形に違いはありますが、すべてのワイズメンズクラブの皆様が協力してくださいませ。62回を迎える今年は今までとちよっとちがいます。ぜひこの変化を感じていただきますようお願いいたします。

これからも、この先につながる未来に向かって、夢を描き変化し続けることが出来る山梨YMCAでありたいと願います。

▼「まちかどの近代建築写真展」設営

10月19日から30日まで、甲府駅北口の甲府市藤村記念館で開催された「まちかどの近代建築写真展」、今年で12回目となりますが、甲府やまなみクラブが協力として加わりました。10月18日に行われた会場設営では4名の会員が約300枚の写真掲示のお手伝いをしました。

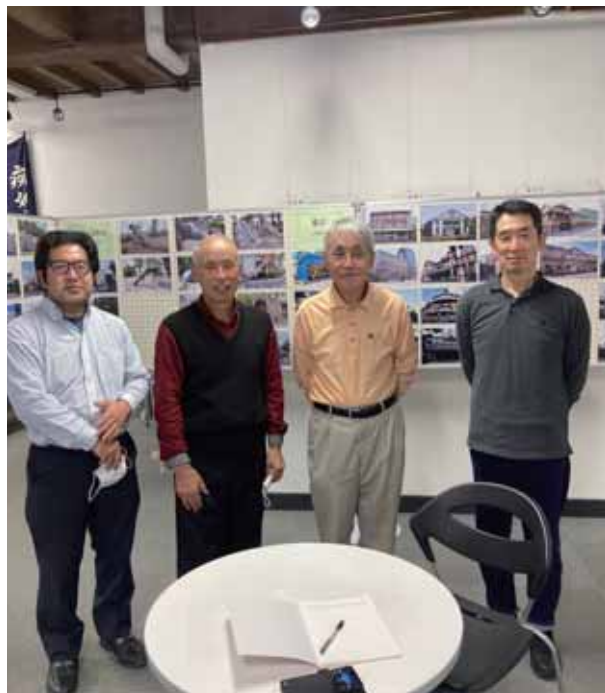
今月のことば

「他人のしたことと、しなかったことを見るな。
自分のしたことと、しなかったことだけを見よ」

人は、他者と比較することで、自分の立ち位置や自分の価値を測っています。

ライバル心や競争心は、ときに原動力となりますが、いつも誰かと自分を比較していると、劣等感や嫉妬心で心が休まらなくなります。

仏教では、「他人に気を取られ、自分をおろそかにする」ことを戒めています。大切なのは、他人の評価を気にせず、自分の心の状態を省みることです。大切なのは、「自分がどのような行為をしたか」です。人のことをとやかく言うのではなく、「ただ、自分がどうであるか？」を冷静に観察することで、他者との比較から生じる妬みや劣等感から逃れることができるのです。



諸報告

- ✓10月2日(水) 山梨YMCAチャリティーバザー委員会
出席者:松本・仙洞田
- ✓10月15日(土) あずさ部部大会(忍野村・いちい亭)
藤原・仙洞田・福田
- ✓10月18日(水) 「まちかどの近代建築写真展」設営
(甲府市藤村記念館)
藤原・松本・米山・仙洞田
- ✓10月21日(金) 山梨YMCAチャリティーバザー委員会
藤原・松本・仙洞田
- ✓10月31日(月) 山梨YMCAチャリティーバザー委員会
松本・仙洞田

行事予定

- ✓11月12日(土)
大澤英二召天二周年記念講演のつどい2022
・13:30～15:30 山梨YMCA・会費:1,500円
・「大澤英二にみるYMCA運動の真髄」
～YMCA史学会から学ぶ～
YMCA史学会理事長 齊藤 實 氏
- ✓12月7日(水)
・12月例会 ホテル談露館 あずさ部長公式訪問
- ✓1月10日(火)
・3クラブ(甲府・甲府21・やまなみ)合同新年例会
ホテル談露館